

第8回佐久市総合計画審議会 議事録（要旨）

日 時：平成23年10月19日

15:30～17:00

場 所：佐久消防署講堂

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 議 事

(1) 第一次佐久市総合計画後期基本計画について

事務局より資料説明（資料1）（資料2）（資料3）（資料4）

質疑、意見

(委員)	資料1の37ページに、森林セラピー基地、平尾の森の説明があったのですが、佐久市で森林セラピー基地というのは、平尾の森と春日の森の2か所があって、そうすると2か所記入するのが筋ではないかと思いますがいかがでしょうか。
(事務局)	ここでは、新クリーンセンターの余熱利用による温水利用型健康施設を整備するという前提があります。春日の温泉につきましては、以前から森林セラピーをやっております、それとの有効的連携を図るということは当然考えております。
(委員)	説明はよくわかるのですが、ならば春日の森も温泉との連携をさらに進めていくという表現もあった方が、市民にとっては非常にわかりやすいかと思われまます。
(事務局)	森林セラピーと、平尾の森、春日の温泉との関係であります、ここで森林セラピー基地平尾の森という言葉を入れたのは、新しい取り組みだからです。実際に森林セラピーで春日の森と春日温泉を利用した健康づくり事業というのは、既に具体的に始まっております、(2)の②生活習慣病予防について学ぶ機会に含まれているという考え方をしております。新たなものとして平尾の森を打ち出したということでご理解いただければと思います。
(委員)	資料1のフリースクールのことですが、いじめや不登校の相談員に、フリースクールを含めたらどうかと考えますがどうでしょうか。
(事務局)	16ページの不登校についてですが、フリースクールについては、既に開設等されていまして、市として具体的な支援がどこまで出来るかということは別にして市とも関連はございます。15ページの

	<p>(3) の特別支援教育、不登校対策の推進で、具体的な事業としてフリースクールとの連携を記述していますので、先程の回答と同じように、既に行っています事から特別な記述はしてございません。</p>
(委員)	<p>環境保全の市内の自然エネルギーの3%ですが、これがどのような数字か教えてもらいたい。今0%で、それを3%に伸ばすという意味なのか、市が投資して3%を増やすという意味なのか。民間の取組も含めて3%に組み立てるのか。あと、家庭や工場とか、どの範囲までどうなのかというところですよ。</p>
(事務局)	<p>現在、各家庭の太陽光の設備についての助成等行っておりまして、現状1.2%位のような感じです。太陽光だけではなくて、水力、それからバイオマスですとか、そういったものを利用いたしまして、全体として3%を目指すという考え方です。</p>
(委員)	<p>家庭の電気という事があって、この下に太陽光というのがあるんですけども、家庭の電気を3%なのか、市内の他の電力の消費も含めた3%なのか。</p>
(事務局)	<p>家庭も含めた全体として3%を目指すという事です。</p>

(資料1) 後期基本計画(案)でパブリックコメントを行う事について承認を得た

(2) その他

世界最高健康都市構想・世界最高健康都市構想実現プラン(案)について
事務局より資料説明(資料5)(資料6)
質疑、意見

(委員)	<p>全般的にとってもいい案で、素晴らしいと思いますが、福祉関係のものがほとんど載っていない。介護という言葉が一か所あるだけです。結局寝たきり老人などに対する提案がなければ、世界一健康都市とは言えないのではないかと思います。</p>
(事務局)	<p>本日の資料は、実際の計画から抜粋しましたので、介護が薄いという感じもありますが、資料5では、保険からのアプローチという中で介護予防という観点をまず保険と併せて介護予防という観点を入れ込んでございます。実際に介護が必要になった方についてのサービスという観点で、健康づくりの中で、介護等のサービスの充実を</p>

<p>(委員)</p>	<p>入れ込んだというような組み立てにはなっておりますので、今後、計画全体の中で、ご意見いただければと思います。</p> <p>総合計画もそうですが、この健康都市の構想でも、やっぱりもう少し現状の分析を少し丁寧にやり、何を重点的に取り込むことが、市民の健康状態を良くし、生涯に亘って楽しく生き生きと暮らせるようになるのかという、その問題意識がちょっとはっきりしない。問題意識がどこにあるのか、相対的にやるには必要な場合もあるが、そういう問題意識がもう一つ伝わってこない。特に健康状態の場合は、子どもからお年寄りまでの男女様々な方々が、今の健康状態がどういう状態なのかという問題をもう少し掘り下げた上で、健康都市への実現ということをしていく必要があるんじゃないかと思っております。そういう努力を医療機関や保健機関などの協力も得て、もう少しそこをはっきりさせると、一層リアリティといいますか、健康都市を是非作っていかうという意味がアップしていくんじゃないかと思えます。それと昨年でしたか、国際的な生物多様性年として、1年間国連を中心とした取り組みがありました。生物多様性条約というものがあり、国にも多種多様性の法律があり、国家戦略もできていますが、生物が多様に、ただ生物がたくさんいるというだけでなく、もっと深い概念があるんですが、その生き生きとした植物から動物、微生物に至る様々な多様性を確保することによって、或いは維持することによって、その生態系のサービスも私達人間も受けることができるし、これは今非常に様々な原因で、放射能汚染も同じなんですけど、人間の作り出した化学物質によって生物の多様性が失われて、絶滅危惧種が増大しているのが、全国的にも全国的にも非常に多くなっています。この生物の多様性の確保という問題は、佐久市においてもそれに係ることが取り込まれておりませんが、健康都市を進める上のベースとして、もう少しアップしていく必要があるんじゃないかと思えます。健康な都市はやはり人間と同時に、生き物が生き生きと、多様な生き物が生息していると、それが維持されている事が大切であり、そういうことが分かっていない。そのもとで作られる生き物の産物である食が、やはり新鮮で健康で質の良いものでありまして、人間の健康にも大きく影響する。その辺りの問題意識が必要なのではないかと思います。</p> <p>総じて、健康都市もそうですし、総合計画でも非常に素晴らしい。大変大事なプランが色々ありますが、それを毎年毎年の予算で裏付けし、きっちりフォローしていく。毎年フォローし、どこまでできたのか、なぜできないのかということを検討して、総合計画は5年ですが、実現プランは何年で考えているかわかりませんが、メリハ</p>
-------------	--

	<p>リをつけて総合計画も生かさないと、非常に苦勞して色々な文章は作っても、あまり重視されないことがよくあります。せっかく知恵を集めて作ったものを生かすような取り組みが、市として強く持っていたいただきたい。どうも終わった後、全体の状況がまた変わって、新しい作業に入るといふ繰り返しでは良くないので、その点の取り組みを合わせて検討してもらいたいと思います。</p>
(事務局)	<p>健康都市構想の策定にあたって、総合計画との違いが非常に難しいところでありました。実際のところ、どこまで健康都市構想に含めたらいいか正直ございました。その点で分析の部分の薄いところもありますが、実現プランについては、総合計画の期間を併せてありますので、その辺りを見ながら取り組みを継続していきたいと考えております。生物の多様性につきましてはご意見を参考にさせていただきたいと思います。健康という概念でここまで広くみた構想は、当市で初めてですので、意見については今後検討させていただきたいと思います。進捗等については総合計画では数値化しましたので、進捗を図りながら次の総合計画の策定に向けて進めていきたい、と考えておりますし、実現プランには数値はありませんが、何をやったかということについて図りたいと考えております。ご意見として次の計画に生かしたいと思います。</p>
(委員)	<p>このような構想ができ、議論していることが非常に素晴らしいなど感動しています。企画書として関係者向けに非常に良いと思いますが、例えばマンガみたいな感じで、構想の段階では作れないかもしれませんが、でも要約版でもいいからあると、何かの際に目に留まるかもしれませんし、市民を巻き込むものとして、そういう要素があればいいと思います。</p>
(事務局)	<p>かなりボリュームがあり難しいですけれども、資料5として、一枚ものは作ってみました。計画は市ホームページにもアップしまして、出来るだけ周知を図っていきたいと思います。</p>
(委員)	<p>大変素晴らしい構想で、世界最高健康都市とありますが、世界でも素晴らしいところがあります。中央アジアに130歳くらいの方がいる。そこはそばを食べたり、お茶を飲んでいるところなんですね。非常に高齢者の元気な方が、世界のあちこちにいるということで、そういう様な世界的な視点から切るといふか、そういうことも必要じゃないかと思います。それには食といふか、食育というよりも、例えば健康食とか、農業との関係、産業との関係もあるんじゃない</p>

	<p>かと。そのような内容を入れたら、もうちょっとプランに色が出てくるのではないかと思います。</p>
(委員)	<p>世界最高健康都市というのは素晴らしい構想だと思うのですが、一番大事なのはプランを出すとともに、市民一人一人がどう問題意識を持つかです。どう生活の中で意識しながら、地域の中で個人的生活の中で作り上げていくかということが、非常に大事なことです。そういう点でぜひ地域の説明会をやる時なども、かなりきめ細やかに会場を回って、市民一人一人の意見を掘り起こす、問題意識を掻き立てるといいますか、そういう作業も一方ではすごく大事なことだと思いますので、お願いしたいと思います。</p>
(委員)	<p>一つは、禁煙の促進についてです。禁煙を全員がするとは思えないので、分煙の促進を目標に設定してほしいです。外国人を連れてくると非常に嫌な顔をする。食堂に入ったりすると、分煙がされていないので非常に嫌な顔をするんです。そういうことも目標にしてほしいと思います。それから意見があったように、世界や国内で色々なことをやっています。ですから、そういう実施されたことを大いに参考にすることが必要です。他の健康都市との交流の促進と書いてあるが、姉妹都市や国際交流都市だけじゃなくて、色々工夫されたよい活動を是非参考に、いただきたいと思います。</p>
(委員)	<p>世界最高健康都市は本当に素晴らしいですが、ちょっとオーバーな気がします。やっぱり世界に認められれば、或いは全国に認められれば確かにそうですけれども、そうすると実現が大変だと思うんです。先程から出ています総合計画との整合性についてですが、具体的に考えた場合、まず基本理念を変える位の気持ちでやらないと、実現するのは難しいというのが一点。二点目は整合性という意味で、施設展開もありましたが、1章として次回の時に項目として起こしていくのか、具体的に総合計画の整合性、それをどうするのか。実施的な問題で、来年からとか、あるいは次回はどうなるのか分かりませんが、そういう論点、観点が必要だと思います。</p>
(事務局)	<p>ご意見の通り、世界最高健康都市、非常に高い目標とっておりますが、だからといって目指さないという事ではありません。それともう一点、総合計画との整合という点ですが、今回の構想と総合計画の関係につきましては、既に総合計画の基本構想がありましたので、その中で世界最高健康都市自体を動かす形を取ってございます。次の第2次総合計画の策定時には、議論になるのかなと思います。</p>

<p>(委員)</p>	<p>本来であれば総合計画の基本構想の中に、例えば将来都市像に、カッコ書きで世界最高健康都市を目指すとしたらどうかと、今までも言ってきました。色々その辺は解釈の仕方があるがもっと強く言った方が良かったかなという感想を持っています。同時に大きな目標なので、これを市民が誇りにして、この世界最高健康都市をやりたいと一致団結して是非実現できるようやってもらいたい。その為非常に大事で、もう少し補足してほしいのは、持続可能の様に、どんどんフェードバックしていくイメージをもっと強く出してほしい。先程、意見があったように、市民が主役で色々なデータを自分達が出し合うことが必要です。この構想を理解して、これに参加して自分たちはこういうことだよと、もっと身近なデータをどんどん出し合っていく、自分が体験して良かった事とか。色々なものが多分あると思うんですよ。そういうことをデータとして集め、それを課題として取り上げたものを研究課題に落とし込んで、色々な大学等と連携しながら成果を積み重ねていく。このような持続可能な体制を整えて市民全体がそれに関わっていく、その仕組みを分かりやすく体系化して、併せて出していった方が、みんなが理解できて、参加する意欲が出てくると思います。みんなが世界最高健康都市を作り上げていく、そんな意識改革も併せてやってほしいと思います。</p>
<p>(委員)</p>	<p>もう少し具体化として、総合計画との関連で明確にするという意味では、総合計画の7ページに後期基本計画の推進テーマ案「未来に続く佐久市らしさの追及チャレンジ佐久」の文言と説明がありますが、そのテーマの問題意識の中に、後期計画から健康都市の推進を進めることを、健康都市を作る構想を検討しているわけですから、そういうことを含むことは別に問題ないし、むしろ色々はっきりするし、読んだ人も明確になるんじゃないかと思います。後期計画全体としては、議論したように健康都市を目指す意識はかなり色々なところに散りばめられていて、読めばだいたいわかるのですが、最上位計画の総合計画の中に、健康都市構想というものをはっきり明記するという事で、後期基本計画の推進テーマの中に、その文言を踏まえて位置づけさせるようなことは必要だと思います。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>総合計画のテーマに位置付けた方が良くはないかという意見をいただきましたが、構成としての問題なんです、あくまでも総合計画の下部計画として健康構想は作ってありますので、逆に健康構想を引っ張り上げて、後期基本計画の推進テーマとすることは、繋がりが難しいというのが正直なところです。</p>

(委員)	<p>未来に続く佐久市らしさの追求と同じ様に入れるということではなくて、説明文があるので、この中に健康都市の構想の趣旨なり位置づけを入れたらどうかという事です。</p>
(事務局)	<p>色々なご意見ありがとうございました。ご指摘の通り7ページの文言の中で、世界最高健康都市が見えるような形というのも一つの案だと考えます。いずれにしましても、今日ここで世界最高健康都市の構想として、実現プランというものを皆様へお示しましたが、今後、パブリックコメントもありますので、お持ちいただいて、再度検討いただき、ご意見をいただければと考えております。</p>

事務局より説明（今後の日程等）

4 閉 会